

項目	自己評価	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容	取組内容の評価指標	達成状況	改善策	学校関係者評価書	学校関係者評価	
確かな学力	B	問題を見出し、解決するための思考力・判断力・表現力等を育成し、生涯にわたって学ぶ力を育てる	「理科する心」を育てる理科教育の推進 自ら問題を見つけ、問題解決に向けて意欲的に思考する授業づくり 基礎基本を身に付け、自らの思いをしっかり表現する力を育てる	問題解決の過程(キャリア教育の視点)を重視した授業研究(理科・生活)算数・国語・総合授業の実践交流 単元末思考力問題作成(理)キャリア教育研究発表会に向けた連携作り	問題解決授業研究(理科4・生活2)の実施状況 単元末思考力問題集(理科版)の作成状況(+1単元) 総合的な学習の時間の見直しと、毎学期の情報交換実施 算数科の実践交流の実施状況 27年度キャリア発表会に向けてキャリア教育の視点を意識した中学校との連携を図る。	●2学期中に、全ての学年の授業研究を終えることができた。 ●単元末思考力問題は新たな単元で作成○年度当初の見直しを行い、情報交換はできている。 ○算数は年次研修の授業研にできるだけ参加するようにしてきた。 ●中学校での授業公開に向けて、理科は教科の連携を図るとともに、生活科は中学校に何度か足を運んだ。	総合的な学習の時間には、地域の講師を依頼することもあるので、年度末にしっかり年間計画について話し合う。 ●本校の課題である表現力(話す・書く)力を伸ばすことに視点を当てた研修を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題はおおむね改善されている。 ・本年度の課題として理科の授業から他の教科の学習効果が出るような取り組みが出来ている。宿題や予習をしている評価が大幅に伸びている。のびのびとしっかり自分の意見が言える児童数も増加している。 ・ノートコンテストなど学習意欲が持てるような工夫ができています。ユニバーサルデザインを意識した授業により「授業がわかる」「発言できる」も向上しており、児童の評価も高まっている。 ・次年度の課題に向けて、コミュニティ・スクールやキャリア・カウンセリングをより進めて行って欲しい。 	A	
				放課後子供教室との連携	放課後子供教室と連携しながら、子ども達の学力保障を進める。	学力調査で1段階の児童を減少させる。	●標準学力調査結果は調査結果がまだ返ってきていないものの、高知県学力定着状況調査は昨年を平均点を6.9点上回っており、目標を達成していることが予想される。			・より効果的な、指導について指導内容と、児童理解の面において連携を行っている。
				子どもにわかる授業づくり(ユニバーサルデザインの発想を生かした)	理科・算数ノートの手引きの活用と国語授業スタンダードの作成 話し合い名人カードを活用した授業研究 理科・算数日記の実践や、論点を明確にした「書く」指導の徹底 ユニバーサルデザインのチェックリストの活用	学校評価アンケート「授業がわかる」肯定評価91.8%→95%以上 「発言できる」肯定評価83.5%→85%以上 ノートコンテスト定期実施状況(年間3回以上) 学校評価で「学習意欲を高めるような授業に努めているか」そう思う28.6%→32%	○「授業がわかる」肯定評価93.7%(+1.9) ●「発言できる」肯定評価91.2%(+7.7) ○ノートコンテスト2学期まで実施 ○「学習意欲を高めるような授業に努めている」16.2%(+12.4)ユニバーサルデザインに視点を当てたことにより様々な児童の実態が見えてきたことで数値が下がったと思われる。ただ、児童の評価は高まっている。			・今後もユニバーサルデザインを意識した授業を心がけ、全ての子どもの学習意欲と学力が向上するように努める。 ・ユニバーサルデザインに関する講師を招聘し、職員の研修を進める。
				忘れ物を減らし学校全体で予習・復習(宿題)の質と量を高める取組	家庭学習の手引きの活用 家庭学習の工夫 個別学習課題等の個に応じた工夫(特別支援の必要な児童の実態に応じて) 自主学習の推進	通知表「生活のようす」で「家庭学習できる」評価児童が80%→82%以上「忘れ物をしない」児童が77%→80% 学校評価アンケート「家で宿題や予習をしている」64.7%→67%(そう思う) 自主学習コンテストの実施	●「家庭学習ができる」87%(+7) ▲「忘れ物をしない」76%(+1)昨年同時期の比較では忘れ物の実数は3割減少している。 ●「家で宿題や予習をしている」86.1%(+21.4) ○自主ノートにはったシールやスタンプの数で評価している。			・忘れ物については、なかなか有効な手立てが見つからないが、学校がチェックをしっかり行うこと、どうして忘れてしまうのか理由を明らかにして課題を克服していきたい。 ・自主学習については、引き続きどのような学習を行えばよいか、子ども達に実例を交えて紹介していきたい。
豊かな心	A	他者や社会、自然環境と共に生きる豊かな心を育てる	「感謝」と「協力」の心育て 読書活動の推進 道徳授業の充実 よさを認め合う関係づくり	図書環境の整備を進めるとともに保護者と連携し、親子読書を進める (親子読書6月11月2月) 読書目標冊数調査による評価を行う 道徳参観日の実施 「ありがとうカード」「ありがとうの手紙」の継続実施 地域とつながる教育で自尊感情と郷土愛を育む	読書目標冊数達成率が二学期末(11月)までに月平均が63%→65%以上になる。 校内ビブリオバトルの実施。 キャリア形成に係るアンケート結果5・6年「自分には良いところがある」60.7→63% 「自分を大切に思える」64.4%→67% 「郷土への愛着」92.9%→95%を目指す。	●読書目標冊数達成率が二学期末(11月)までに月平均82%(+19) ●校内ビブリオバトルの実施。 キャリア形成に係るアンケート結果 ●「自分には良いところがある」87.0%(+26.3) ●「自分を大切に思える」95.7%(+31.3) ●「郷土への愛着」100%(+7.1)	・「ありがとうカード」も継続していくが、他者理解に対する働きかけの工夫として、「いいところ見つけ」も含め取り組んでいく必要がある。 ・家庭や地域社会と連携した読書活動、道徳教育に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題はおおむね改善されている。 ・読書目標冊数・校内ビブリオバトルの実施・自分に良いところがある・自分を大切に思える・郷土への愛着など全てにおいて目標を達成している。「ありがとうカード」等の活用による感謝の気持ちの育成や、友人間で互いに認め合い、自分や友人の個性や才能を伸ばすことができる育成が展開されている。建前でなく、本質を追求する指導の結果が表れている。 ・次年度の目標に向かってより一層の改善を期待しています。 	A	
				心身共に健康で、たくましく、安全に留意して意欲的に運動する力を育てる	体育授業の充実 運動習慣の確立	「体ほぐし運動」の授業研修の実施 低・中・高合同授業で意欲化を図る 体づくりのための5分間運動の実施 体育アンケートの内容検討と実施 習慣形成に向けた個に応じた指導の工夫(運動の有用性を高める)	体力テスト総合点D・Eが減少する。(18%→15%以下) 「立ち幅」「50メートル走」の得点向上を図る。 運動習慣30分以上(下学年)1時間以上(上学年)の達成率が69.4%→73% 運動の有用性を高める 体育アンケートで体育をすると体が丈夫になる。87%→90%			体力テストは1月末実施予定。 5月調査の比較は31%→19%(+12) ○実施学年の比較では立ち幅跳びは対5月比12cm、50m走は対5月比0.4秒の向上。 ○全校で取り組む朝の体操を9月から始めることができた。 ▲運動習慣の達成率は9月に62.5%に下がった。ただ、その週は天候が悪く、外遊びができない日が多かった。 ●運動の有用性について肯定評価94%(+7)
信頼される開かれた学校づくりを進める	保護者や地域との円滑なつながりを確立する 保護者や地域の学校教育への関心を高め、コミュニティ・スクールの組織作りを模索する。	地域に情報発信を行い、地域と創るキャリア教育を進め、隣接する高知工科大学の力を学校経営に活かす。 コミュニティ・スクールのプレスタート実施とコミュニティ・スクール推進委員会の活用	学校の様子や学校だよりで地域に配布し、ホームページにアップする。 学校だより年間50号を目標とする。 高知工科大学のサポーター・ボランティア受け入れや地域の土曜活動を取入れる。 コミュニティ・スクールの取組を保護者・地域に発信していく。(CS便り等) コミュニティ・スクール推進委員会を学期ごとに開催し、推進委員会の意見を積極的に取り入れる。	○地域だよりは、毎月地域の回覧で回してもらっている。また、CS便りも発行の際は地域に回覧している。ホームページについては個人情報の関係もあり、掲載方法を考慮中。 ●学校便りは現在94号を越えている。 ●高知工科大学や地域の方のボランティアを受け入れ、学校サポーターや放課後子ども教室を充実させている。また、1学期には土曜活動として、PTAや地域の方にお世話いただきどろんこ大会を開催した。 ●CS推進委員会を開催し、学校の要望を聞いていただいた他、委員の方の提案を受け様々な活動が生まれている。	・個人情報に支障がない範囲で、できるだけ、学校通信もホームページにアップしていきたい。 ・今より多くの方が、学校に足を運んでもらえるような取組を進めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題は全てにおいて、十分に改善されている。 ・本年度の課題の、地域の住民や団体が主体的に取り組む活動は、大きな成果を上げている。学校だより100号間近。地域への情報発信が十分に出来ている。地域との繋がりが深く学校への大きな協力・支援が得られている。 ・高知工科大学や地域のボランティアを受け入れ、学校サポーターや放課後子供教室を充実させている。コミュニティ・スクール推進委員会を毎学期に開催し、外部講師の増加などにより地域との連携がなされている。 ・次年度に向けて今後ともより効果的な連携活動が期待できる。コミュニティ・スクールについて、香美市を引っ張って行って欲しい。 	S			
命の大切さを知り、自らの健康を維持するとともに、自分の命を自分で守る手段と態度を身に付ける	防災・安全教育の充実を図る 健康教育を推進する	避難訓練・防災学習の計画的な実施 高知県安全教育プログラムに基づいた授業の実施 災害用備品の整備 生活リズムチェックカードの実施と結果分析・活用 食育の推進 歯と口の健康を守る指導の徹底	避難訓練・防災学習の計画的な実施状況 地域・保護者とともに防災学習を行う。 非常持ち出し袋の整備状況を調査し、整備率を上げる。 生活リズム名人が全校の50%→52%以上。 生活リズムチェックカードの中で毎日朝食を食べる児童が97.7%→98%以上 上級生でお弁当作りの体験を行う。 歯磨き教室の実施状況と歯磨き習慣の定着状況 毎日朝晩歯みがきをする(76.7%→80%)	○計画的に避難訓練・防災学習を実施してきた。 ●定期的に防災について保護者に呼びかけ非常持ち出し袋の整備率も向上してきている。(33%→47%) ●生活リズム名人60%(+10) ▲朝食を毎日食べる97.5%(+0.2) ▲お弁当作りは未実施 ●1学期に歯みがき教室実施 ○毎日朝晩歯みがきをする77.5%(+0.8)	・来年度の防災研修会に、片地区の自主防災組織の方にも参加してもらおう。 ・生活リズム名人の実施に際しては、個人の目標を立て取り組む。			<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題は改善されている。 ・本年度の課題の、地震避難訓練・炊き出し・避難所開設に向けて、心肺蘇生・応急手当・救護法などの防災研修会を実施している。また、校長先生とPTA永野会長は防災士の資格習得など積極的に取り組んでいて、一歩進んだ避難訓練が出来ている。歯みがき名人・生活リズム名人の取り組みも特色がある。 ・次年度も具体的に示された目標に向かって継続して取り組まれることを期待している。 	S	